

事業計画書

団 体 名	特定非営利活動法人 関西生活文化研究会おでかけ	
事 業 名 称	介護が必要な方の車両を使った外出ニーズに応える事業	
事業実施期間	(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) 2026年 4月 1日 ～ 2027年 3月 31日	
1. 事業の目的	長期的な視点(複数年単位)で記入	(1) 取り組みたい課題(解決したい社会問題等の現状を記入すること) 外出に介助が必要な高齢者にも、枚方市が推し進めている高齢者居場所づくり事業に参加できるようにしたい。また、その他にも公的制度による給付の対象とならない外出を支援したい。
		(2) 動機・きっかけ(課題を解決・改善したいと考えた動機を記入すること) 介護保険制度を使って車両での通院介助を実施している高齢者の家族から、「地域で行われている高齢者居場所づくり事業の集まりに参加したいが、外出に介助が必要なので手伝ってほしい。」との依頼を受けたこと。
		(3) 取り組みたい課題の原因(団体が考える社会問題等の原因を記入すること) 高齢者居場所づくり事業は、高齢者が住み慣れた地域の中で、健康でいきいきとした暮らしができ、自由に集まり、交流できる場所を創るための事業だが、外出に介助を要する方はそこまでの移動が負担で参加できない。
		(4) 取り組みたい課題の解決・改善策(団体が考える改善策等を記入すること) 要介護者に提供している車両での通院介助と同じように、車両を使って運転者が介助も行うことで、公的制度の給付対象とならない様々な先行への外出が可能になる。
	事業実施期間の視点(単年度)で記入	(5) 申請事業の目的(今回申請を行う事業の目的を記入すること) ニーズに対して、今までは公的制度の給付対象とならないため、事業者が対応できる範囲で実施してきたが、補助を受けることでより多くの人に対応できるようになる。
		(6) 申請事業が枚方市民に与える効果とその確認方法 <枚方市民への効果> (誰に・どのような効果があるか具体的に記入すること) 外出に介助が必要になった高齢者でも、居場所事業など余暇のための集まりに参加できる。また、その他介助を行う人が車両も運転することで給付の対象とならなくなるから諦めていた外出も、できるようになる。 <確認方法> (参加者数を確認・参加者へアンケートやヒアリングを行う等具体的に記入すること) この事業を利用して外出した人数と回数を確認する。

2. 事業内容等	(1) 事業の対象者（例：枚方市内に住む10代から20代の人 など具体的に） 枚方市内に住む外出に介助が必要な高齢者・障害者
	(2) 事業の実施場所（移動補助等の事業の場合は、発着場所等を記入すること） 枚方市内の、介護保険等の公的制度による給付の対象とならない行先
	(3) 事業内容 介護保険等の公的制度による給付の対象とならない行先への外出を希望する方にパンフレットを送り、利用希望者に車両を使った外出支援サービスを提供する。 参加者の募集は、近隣の地域包括支援センターにも行い、介護認定にかかわらず外出に支援が必要な方が負担なく外出できる機会を創出する。
3. 実施スケジュール	<p>（事業の準備から終了までのスケジュールを記入すること）※添付も可</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月 実施する支援内容を取りまとめたパンフレットを作成し、近隣の地域包括支援センターや居宅介護支援事業所に配布する。 ・5月以降 前月中に利用希望を募った行先に対して、外出支援サービスを提供する。 ・9月 半年間の活動実績の取りまとめ ・2027年3月 半年間の活動実績の取りまとめ
4. 事業実施の体制	<p>(1) 人員体制（実施にあたり必要と想定する人員・配置人員の経験やスキル等を記入すること）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出支援スタッフ：一日あたり2名（介護資格と福祉有償運送資格の両方の所持者） ・事務スタッフ：1名
	<p>(2) 事業対象者の見込み数（例：参加者●名など現時点の想定人数を記入すること）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週2～3名程度、4～6回の利用として、48週で192～288回の利用を想定。
	<p>(3) その他の体制（寄附者や協力団体などの想定があれば記入すること）</p>
5. 自立的・継続的に活動していくための工夫	<p>（賛同者や財源の確保策、市民・市民団体・企業・行政等との連携についても記入すること）</p> <p>私たちの活動には福祉有償運送ができる人材が必要なので、福祉有償運送の資格を有する人材を確保するため、毎年度末にラポールひらかたで開催される講習を事業関係者すべてに紹介し、参加者を増やしていきたい。</p>

6. 申請事業に対しこれまでに取り組んだ内容や新たな取り組み	これまでと同様のニーズに対して、介助に要する対価を収受せず事業所の余力の範囲内で対応してきた。
7. 事業のPR方法	(事業の実施について市民等へ周知する方法などを記入すること) ・近隣にある居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターに事業をPRするパンフレットを配布する。
8. 申請事業に対する他の助成金や委託料等の申請予定	助成金等の予定 有り (申請中を含む) ・ <input type="checkbox"/> 無し (本補助金のみ) 助成金等の名称 () 申請中の場合、申請結果が確定する予定日 (令和 年 月 頃の見込み)
9. その他 ※PRすべき事業の特徴、添付する参考資料など	

事業収支予算書

団体名： 特定非営利活動法人関西生活文化研究会おでかけ

補助対象事業の名称：	介護が必要な方の車両を使った外出ニーズに応える事業
------------	---------------------------

事業実施期間： 2026年 4月～ 2027年 3月

【収入の部】

項目 ※1	予算額(円)	内容説明 (積算根拠等)
枚方市補助金(一般) (A)	300,000	補助金交付申請額 (一般寄附)
枚方市補助金(団体) (B)	140,000	補助金交付申請額 (団体希望寄附)
自己資金	39,750	
合計 (C)	479,750	

【支出の部】

項目	予算額(円)	内容説明 (積算根拠等)	
補助対象経費	人件費	196,800	外出支援スタッフの2名の平均時給1640円、利用週5回で2.5時間として、1640円×2.5時間×48週
	人件費	253,560	事務スタッフの1名の時給2113円、利用週5回で2.5時間として、2113円×2.5時間×48週
	印刷費	3,695	パンフレット500部 (4月～9月分) プリントパックで両面4色巻き三つ折りの価格
	印刷費	3,695	パンフレット500部 (10月～3月分) プリントパックで両面4色巻き三つ折りの価格
	郵便代	22,000	定型50g 110円×200通
小計	479,750		
補助対象外経費			
小計	0		
合計 (D)	479,750		

- ※1：事業に係る収入はすべて記入してください。
- ※2：収入の合計(C)＝支出の合計(D)となるように記入してください。
- ※3：枚方市補助金(一般)(A)は、補助回数により記入可能な金額が異なります。
(詳細は、募集要項及び別シート「チェックリスト」を参照すること)
- ※4：枚方市補助金(団体)(B)は、個別に通知した団体希望寄附額が上限です。
(通知がなかった、または今年度の申請を希望しない場合は、0円と記入すること)